

西蒲区農業委員会 だより

第49号

2019年
6月1日発行

新潟市西蒲区農業委員会 〒953-8666 新潟市西蒲区巻甲 2690 番地 1 TEL.0256-72-8631



農業委員19人に辞令交付

4月2日、農業委員19名に辞令が交付されました。

また、4月9日には農地利用最適化推進委員27名に委嘱状が交付されました。それぞれ、3年間の任期で、西蒲区農業の振興を目指します。



会長就任のごあいさつ

新潟市西蒲区農業委員会

会長 間宮 一

緑の美しい新緑の候となり、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さる4月2日に開催されました、新潟市西蒲区農業委員会総会において会長に就任することとなりました。平成28年の農業委員会法の改正から3年が経過し、前期に次いで2期目となります。

委員46名も、農業委員3名、農地利用最適化推進委員12名が改選となり、新たなメンバーで委員会の職務に取り組むこととなりました。

平成の終わりに、米の生産調整の手法が大きく変化し、令和元年は、その動向を見極める上でも意味深い年であり、実需と結び付いた販路の確保など、新潟米の魅力を活用した新たな販売戦略に期待されるとともに、一方では、過剰生産による米価の下落も懸念されています。

また、TPP発動後の実質的な影響に加え、米国とのTAGの行

方も、今後の地域農業を展開する上で、大きな不安材料となっております。

こうしたなか、農作業の効率化や省力化に向けて期待されているICT技術の活用や、大規模農業の実践に向けて、農地の集積と集約は、欠くことのできない重要な課題となっており、人農地プランの実質化を通じ、農地利用の最適化をさらに進めることにより、地域農業の振興・発展を進めることが農業委員会の果たすべき役割と考えています。

平成28年の法改正から、委員任期の2期目を迎えるにあたり、これまで積み上げた経験を活かし、農業振興計画や都市計画なども含めた適正な土地利用にも配慮して、農業委員会の責務を果たすことと、西蒲区の農業の発展に尽くすことを農業委員、農地利用適正化推進委員と共に誓い、就任あいさつとさせていただきます。

会長

間宮 一

巻



農地部会長

増井 勝

潟東



農政振興部会長

吉田 浩

中之口



会長職務代理者

草野 伸一

岩室



農地部会職務代理

田中 一男

西川



農政振興職務代理

堀内 多計司

巻



任命された農業委員は 19 名
で、会長など役職以外の委員は
次のとおりです。
(氏名敬称略、地域・所属部
会) ※議席番号順



広川 浩
中之口／農政振興部会



長谷川 浩成
巻／農政振興部会



小林 喜一郎
西川／農地部会



武田 要一郎
潟東／農政振興部会



榎田 士農夫
岩室／農政振興部会



棚邊 友衛
巻／農地部会



土田 正志
農協推薦・西川／農地部会



大島 伸吾
西川／農政振興部会



清水 和子
公募・西川／農政振興部会



田邊 重夫
中之口／農地部会



小野塚 彦榮
潟東／農地部会



笠原 和仁
巻／農地部会



阿部 マサ子
公募・岩室／農地部会

農地を転用するには…

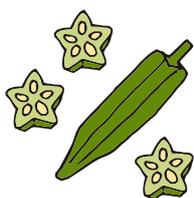
農地（田、畑、樹園地など）
を農地以外にすることを「農地
転用」と言います。

農地は、農地法で守られてい
るため、自分の農地であっても
転用するには転用許可が必要
になります。

許可を受けずに転用すると農
地法に違反することになり、農
地に戻すよう命令を受けること
があります。命令に従わない場
合には、厳しい処分や罰則が科
されることもあります。

住宅の建設や、駐車場、資材
置き場の造成などをする際に
は、農地かどうかを確認し、農
地である場合は、必ず転用許可
を受けましょう。

転用許可についてのご相談は
農業委員会へ。



4月9日、農地利用最適化推進委員に農業委員会から委嘱状が交付され、27名の農地利用最適化推進委員が誕生しました。
(氏名敬称略、地区・所属部会) ※地区順



川上 広志
岩室／農地部会



大岩 稔
岩室／農地部会



伊藤 勇
岩室／農政振興部会



池田 義和
岩室／農地部会



鑑城 正史
巻／農政振興部会



尾張部 満
巻／農政振興部会



大滝 幸子
巻／農政振興部会



青柳 一
巻／農政振興部会



鈴木 隆
岩室／農政振興部会



本間 真由美
巻／農政振興部会



長谷川 智行
巻／農地部会



野澤 和吉
巻／農地部会



中野 文和
巻／農地部会



高井 榮志英
巻／農地部会

バックナンバーの検索は、QRコードで。

発行済の農業委員会だよりを見たい。そんなときにはホームページに登録されたバックナンバーを使うと便利です。

スマートフォンからは、QRコードで目的のホームページに簡単にアクセスできます。

※QRコードの読み取りには、QRコードリーダーのインストールが必要です





田中 重樹

西川／農地部会



高橋 仁

西川／農地部会



小林 克巳

西川／農政振興部会



赤川 勢一

西川／農政振興部会



八木 寿久

巻／農地部会



岡村 直樹

中之口／農政振興部会



吉田 健一

潟東／農政振興部会



竹内 隆明

潟東／農政振興部会



小林 守

潟東／農政振興部会



金永 誉志広

潟東／農地部会

農地利用最適化推進委員は、農業委員と協力して「農地等の利用の最適化を推進」する活動を行う「特別職の非常勤公務員」で、農業委員会が委嘱しました。



長谷川 一利

中之口／農地部会



高張 強

中之口／農政振興部会



高橋 忠雄

中之口／農地部会

「農地等の利用の最適化」とは…

もうかる農業を実践するには、効率的な農業経営が欠かせません。それには、農業の最も基本的な基盤である農地を有効に、効率的に活用する必要があります。

農地を農地として使い続けられること、大型機械を効果的に使える十分な広さがあることなどのほかに、将来に向けて農業が継続できるよう、新しい担い手の確保も大切です。

そのために、農地の交換や所有権の移転などを通じて、まったく広い農地を使えるよう、また、新しく農業を始めようとする人が、しっかりとした担い手になれるよう、各地域の農家の皆さんの意見の調整や橋渡しを行うことなどが農地等の利用の最適化であり、農地利用最適化推進委員の役割となっています。

委員のリレートーク



農地利用最適化
推進委員
尾張部 満
(巻)

暖冬小雪ですんだ今年の冬でありましたが、春になったと思っただけで、春にならずに種子消毒等に始まり、あつと言いつつ間に田植えも終わり、蒲原平野は今、美しい緑色に染まっておりま。

改正農業委員会法が平成28年4月1日に施行され、私共農地利用最適化推進委員は、西蒲区内で27名任命

され、3年の任期が終了し、この31年4月から新たに2期目のスタートとなりました。

この3年間で振り返りますと、1年目は何も知らない強みで、初めて出席した定例総会では、何か法廷みたいな雰囲気だと思つた事を今も鮮明に覚えております。

でも、今は何も違和感ないと言う事は、やはり慣れでしょうか。2年日以降は「いざれ」と言う事にして、私の地元、馬堀地区では、今、大圃場計画の真つ最中でありま。

以前に何回かは話がありました、決まらなかつた経緯があり、あと数年での実現を期待し、熱望して

ます。また、何より大事なのはみんなの力の結集なのではないでしょうか。

担い手不足、認定農業者の高齢化等、取り巻く情勢は厳しいところではあります、大圃場におこなければなおの事ではと思つております。

農地利用最適化推進委員は、農業委員の方々と協力し、「農地等の利用の最適化を推進」と有ります。日々の農地パトロール等、有形・無形で、いろいろな分野の人達と交流を持ち、少しでも役立ちたいと思つております。

ありがとうございます。

農業委員会の主な動き(18.12月~19.4月)

委員とは、農業委員及び農地利用最適化推進委員です。

12月	4日~5日	新潟県農業委員女性委員研修会(女性委員3名)
	11日	農業委員会現地研修会(委員5名)
	20日	潟東地区審査委員会(委員6名) 新潟県担い手経営発展推進大会(委員1名)
	21日	12月調査委員会(委員5名)
	27日	12月定例総会(委員39名)
1月	7日	第4回代表者会議(委員11名) 次期農地利用最適化推進委員候補者評価委員会(委員11名)
	10日~11日	市内6農委会長視察研修(会長)
	22日	やわ肌ねぎ出荷反省会(委員1名)
	24日	新潟市人・農地プラン検討会(委員1名)
	25日	越王おけさ柿出荷反省会(委員1名)
	28日	1月調査委員会(委員6名)
	30日	西蒲区農業再生協議会臨時総会(会長)
	31日	1月定例総会(委員28名)
2月	5日	にいがた女性委員の会地域ランチミーティング(女性委員4名) JA越後中央いちじく品評会表彰式(委員1名) 市長と市内6農業委員会役員懇談会(委員6名)
	6日	新潟西部農業を語る会(会長)
	14日	第5回代表者会議(委員10名)
	20日	下越地区農業委員会・事務局長会議(会長、事務局長)
	25日	2月調査委員会(委員6名)
	28日	2月定例総会(委員28名)
3月	1日	市町村農業委員会役員研修会(委員4名)
	6日	西蒲原土地改良区西地区委員会(会長)
	18日	農地部会(委員14名) 農政振興部会(委員18名)
	25日	3月調査委員会(委員7名)
	27日	新潟県農業会議第123回通常総会(会長)
	28日	3月定例総会(委員31名) 30年度定期総会(委員40名)
4月	2日	市長召集総会(委員19名)
	9日	農地利用適正化推進委員委嘱状交付
	11日	全国情報会議(会長)
	12日	農地部会(委員18名) 農業委員会だより編集会議(委員5名)
	23日	4月調査委員会(委員8名)
	26日	第1回代表者会議(委員9名) 4月定例総会(委員30名) 31年度定期総会(委員40名)

農地に関する各種申請の日程(6月~9月)

農地法関係			農業経営基盤強化促進法関係		
月	申請締切日	総会	月	申出締切日	市の公告日
6月	10日(月)	28日(金)	6月	25日(火)	8月15日(木)
7月	10日(水)	31日(水)	7月	25日(木)	9月13日(金)
8月	9日(金)	30日(金)	8月	23日(金)	10月15日(火)
9月	6日(金)	30日(月)	9月	25日(水)	11月15日(金)

※農業経営基盤強化促進法による今春の「田」に係る利用権設定の申し出は3月15日までで終了いたしました。
※「田」の次の受付は8月から受け付けます。なお、「畑」の利用権設定、売買や交換などの所有権移転は、必要により随時受け付けています。

全国農業新聞



週刊 月4回(金曜日発行)

月 700円(税込) 年 8,400円(税込)

■購読の申し込みは、西蒲区農業委員会または地元委員へお気軽にご連絡ください。
■3か月無料のお試し購読もご利用ください。